

釜房ダムに管理後最大規模の出水!! ～非出水期間中では2番目の規模～

低気圧による降雨により釜房ダム流域では笹谷観測所において270mmの雨量が観測され、流域平均で222.0mmの雨量が観測されました。

この出水によりダムへの流入量が最大440.88m³/sとなりダム完成以来最大の出水（非出水期間10月～6月の期間内の流入量は第2位で降水量は第1位）が発生しました。

10月から6月までは非出水期にあたり出水期よりも高めに貯水位を管理していますが、4月中旬から6月中旬にかけては「かんがい用水」や「発電」などに多くの水を使用するため、ダムの貯水位をさらに高く管理しています。

このような時期での大規模な出水は過去にも例が無く（非出水期での第1位は平成18年12月27日で、水の使用が少ない時期であったため貯水池の水位は低く、出水をダムで貯めることが出来た）、今回長期間の降雨が予測され、かつダム完成以来最大規模が想定され、一時「洪水時最高水位」（ダムで貯められる最高水位）を超えることが予想されましたが、流出量を低減させる操作を行い、最大流入量440.88m³/sに対して総放流量が353.28m³/sに押さえられ、下流河川への洪水量を低減することが出来ました。

なお、今後今回の出水を踏まえた検証を行い今後のダム管理に反映していきます。

※数値については速報値になります。

<発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者クラブ、東北専門記者会>

問い合わせ先

釜房ダム管理所

柴田郡川崎町大字小野字大平山10-6 (TEL: 0224-84-2171)

管理所長

西條 一彦

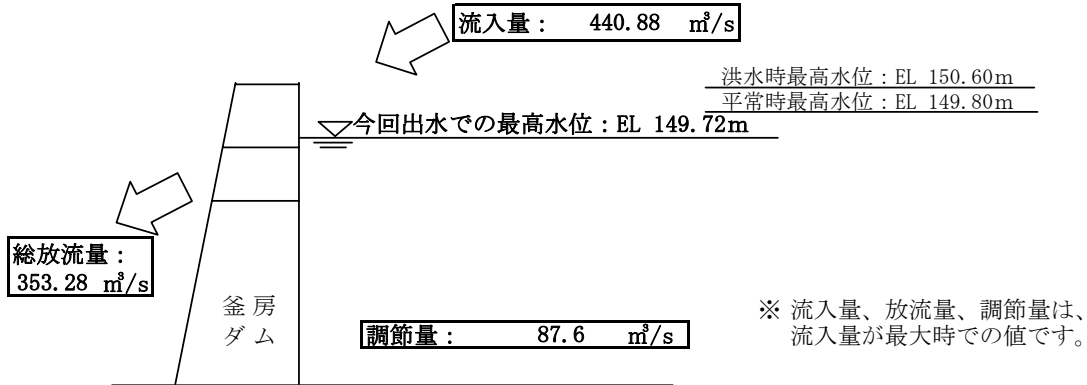
管理係長

木村 康文

今回の出水におけるダムの洪水調節量

(5 月 3 日 16 時 24 分)

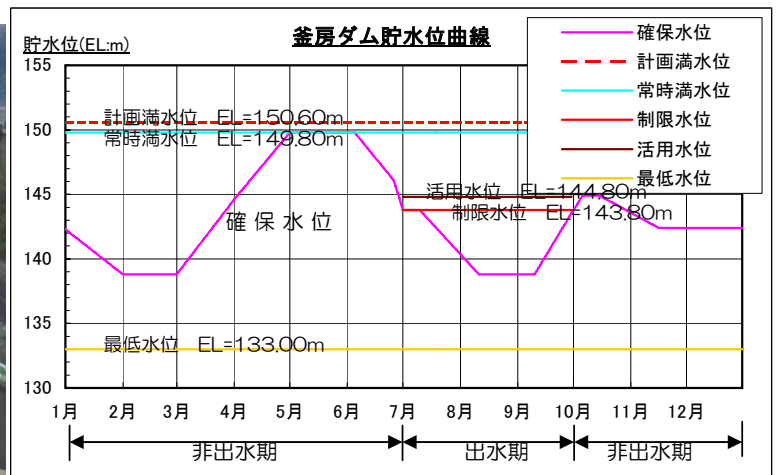
(数字は速報値)



今回の出水におけるダムの放流状況



釜房ダム確保水位曲線



今回の出水におけるダムの放流状況



今回の出水におけるダム湖の状況

